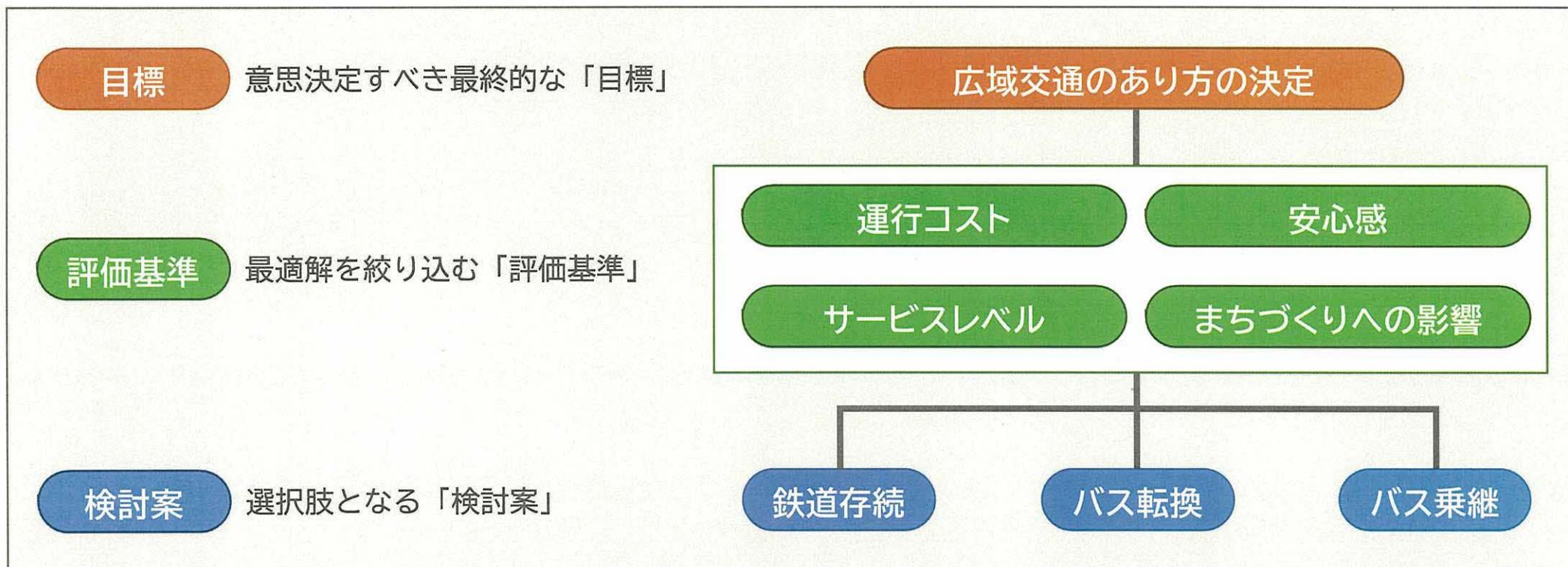


## 問10～13における分析手法について

- ・複数の指標から相対的な重要度を定量的に計測することが可能な意思決定手法を用いた「階層分析法（AHP）」によって分析を実施。
- ・本業務においては、以下の構造となるように、設問を設定。



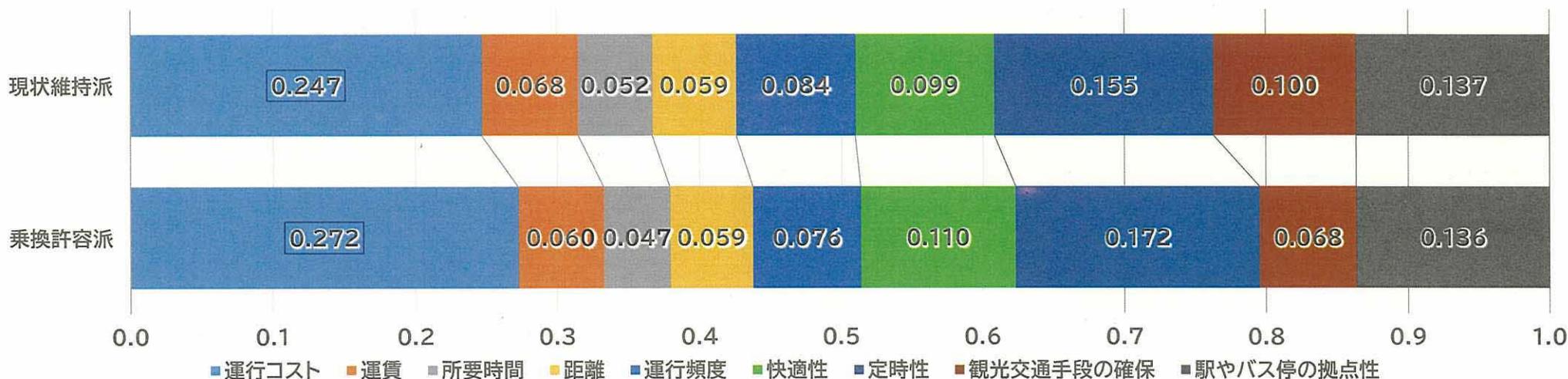
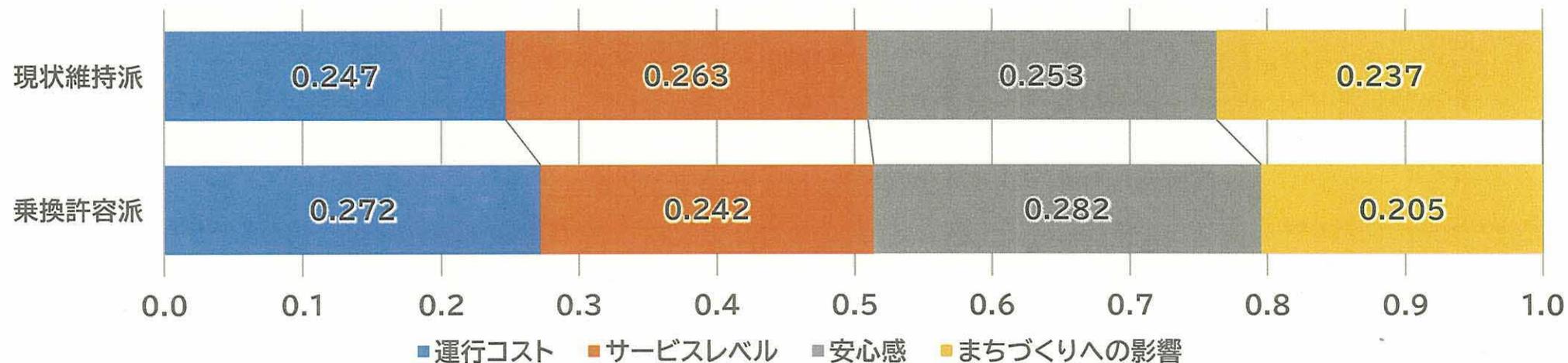
- ・今回のアンケート結果から「検討案」に対して、どのような「評価基準」が重要視されているかを整理。
- ・今後、「広域交通のあり方の決定」に向け、「検討案」の評価を実施。

## ■ 各町の評価状況

町名	検討案	評価状況
妹背牛町	現状維持	「サービスレベル」、「まちづくりへの影響」を重要視
	乗換許容	「運行コスト」、「安心感」を重要視
沼田町	鉄道存続	「安心感」、「まちづくりへの影響」を重要視
	バス転換	「運行コスト」、「サービスレベル」を重要視
北竜町	現状維持	「サービスレベル」、「運行コスト」を重要視
	乗換許容	「サービスレベル」、「まちづくりへの影響」を重要視
秩父別町	—	「運行コスト」、「サービスレベル」を重要視

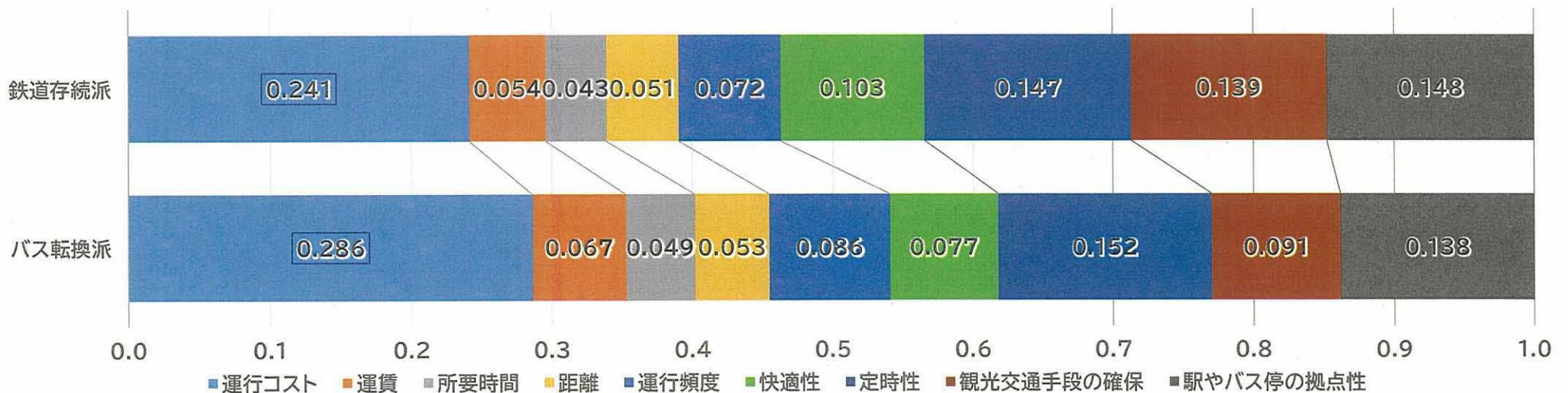
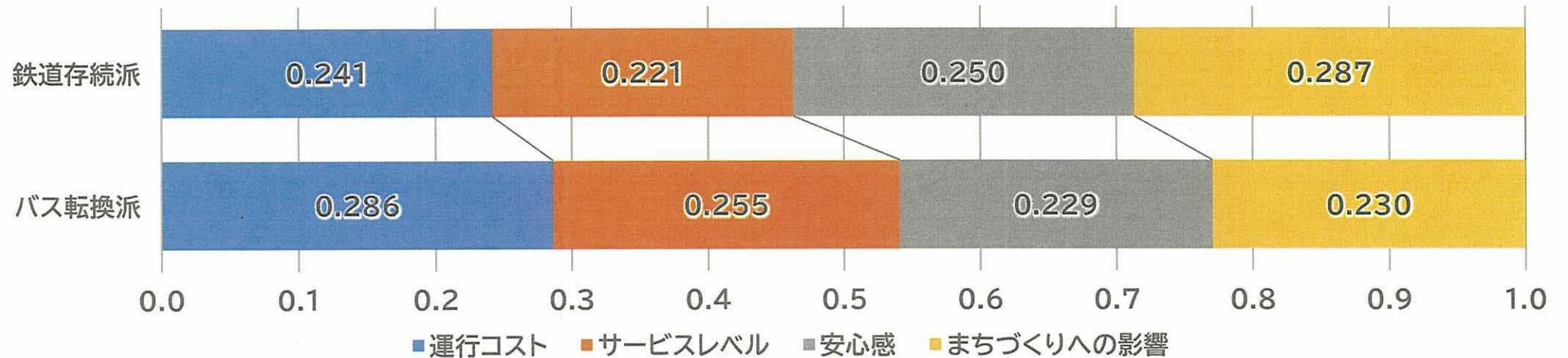
■ 妹背牛町

- ☑ 現状維持派は、「サービスレベル」、「まちづくりへの影響」を重要視しており、「サービスレベル」においては、「運行頻度」、「運賃」を重視、「まちづくりへの影響」においては、「観光交通手段」を重要視している。
- ☑ 乗換許容派は、「運行コスト」、「安心感」を重要視しており、「安心感」においては、「定時性」を重要視している。



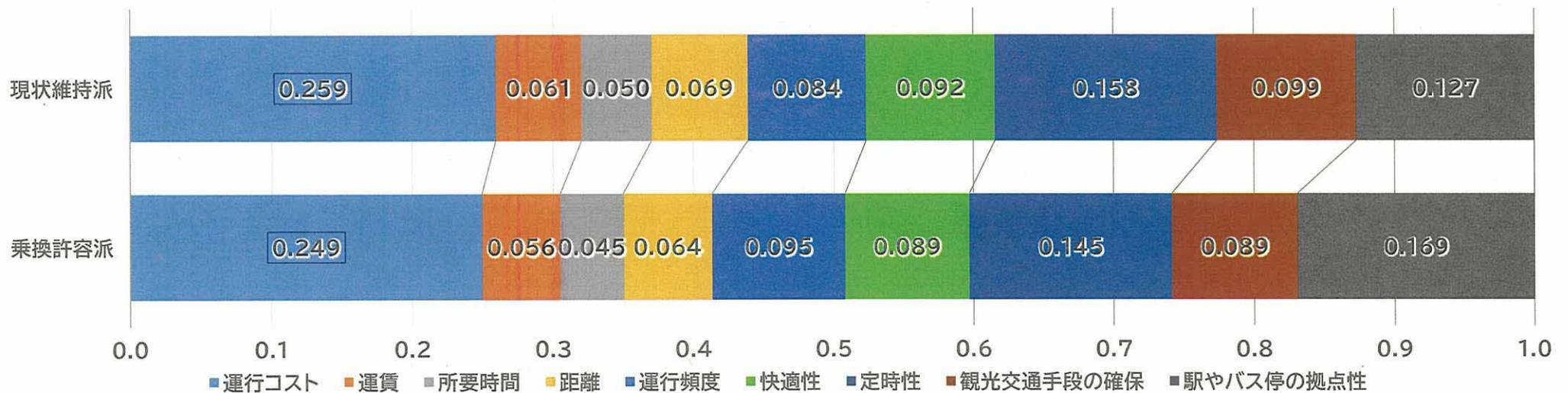
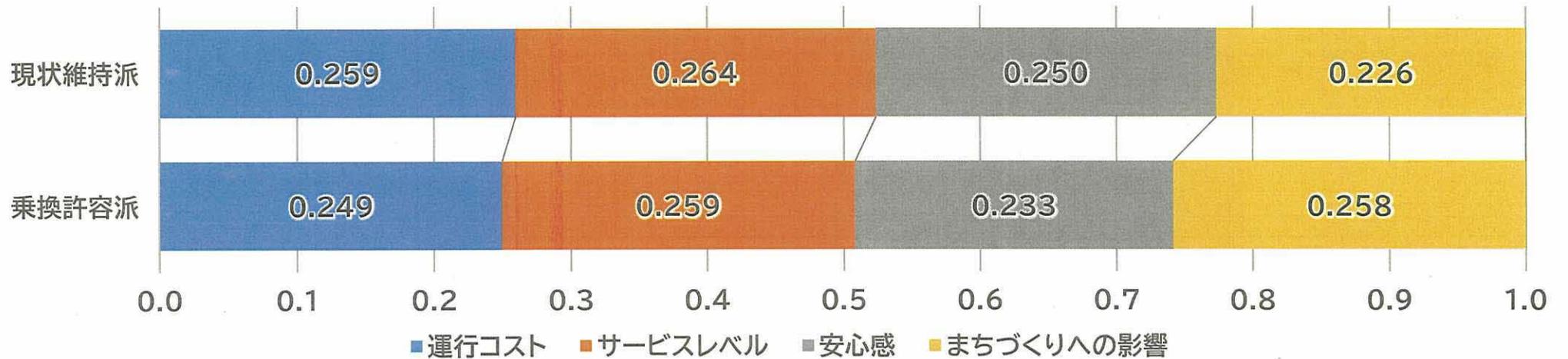
■ 沼田町

- ☑ 鉄道存続派は、「安心感」、「まちづくりへの影響」を重要視しており、「安心感」においては、「定時性」を重視、「まちづくりへの影響」においては、「駅やバス停の拠点性」を重要視している。
- ☑ バス転換派は、「運行コスト」、「サービスレベル」を重要視しており、「サービスレベル」においては、「運行頻度」、「運賃」を重要視している。



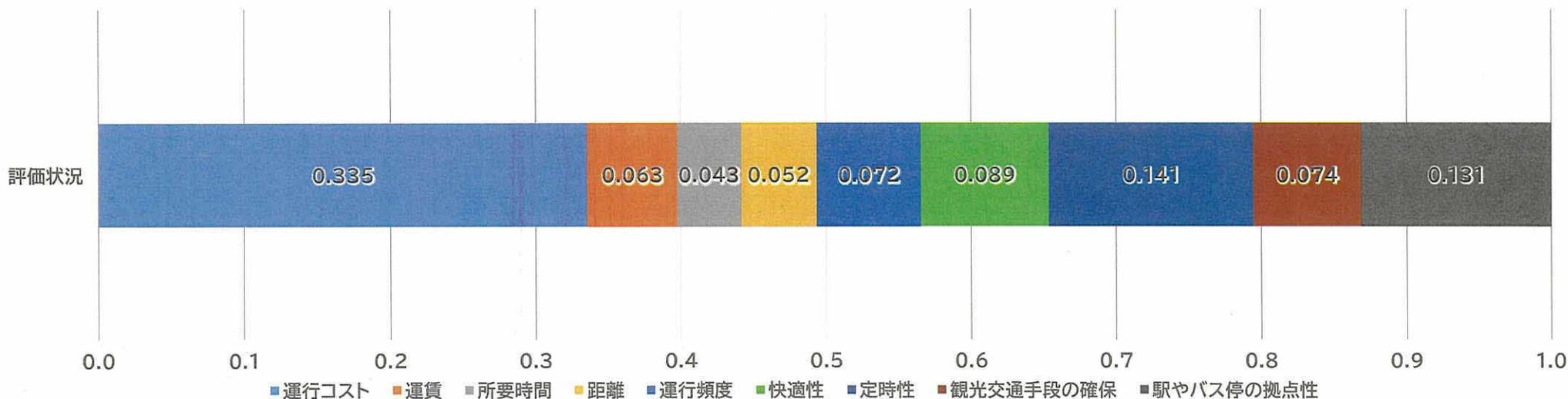
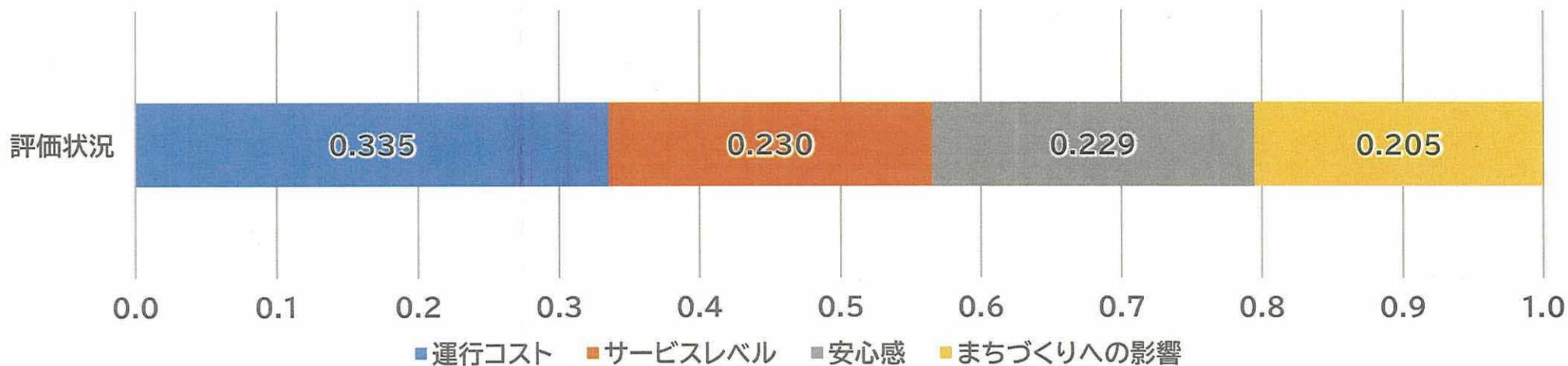
■ 北竜町

- ☑ 現状維持派は、「サービスレベル」、「運行コスト」を重要視しており、「サービスレベル」においては、「運行頻度」、「距離」を重要視している。
- ☑ 乗換許容派は、「サービスレベル」、「まちづくりへの影響」を重要視しており、「サービスレベル」においては、「運行頻度」、「距離」を重視し、「まちづくりへの影響」においては、「駅やバス停の拠点性」を重要視している。



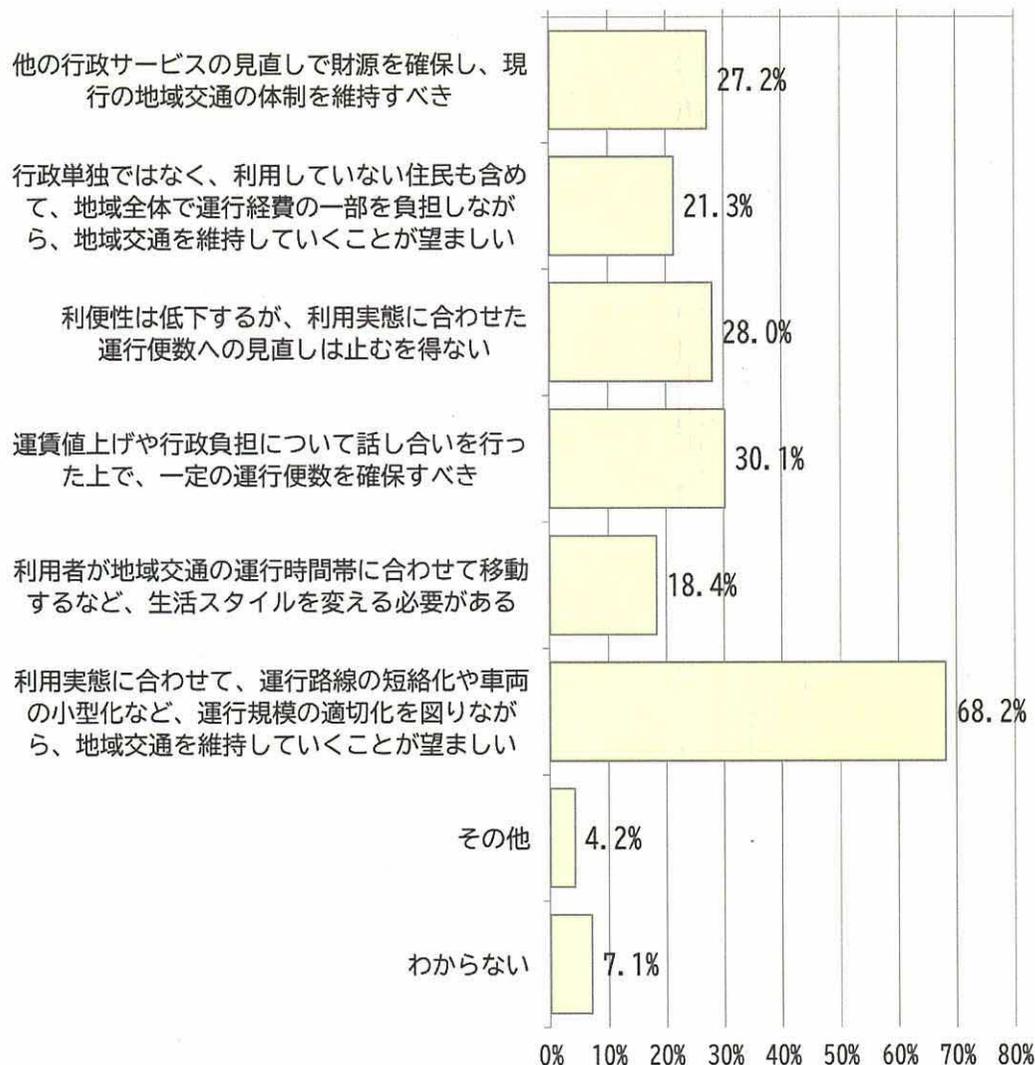
■ 秩父別町

☑ 「運行コスト」、「サービスレベル」を重要視しており、「サービスレベル」においては、「運行頻度」、「運賃」を重要視している。



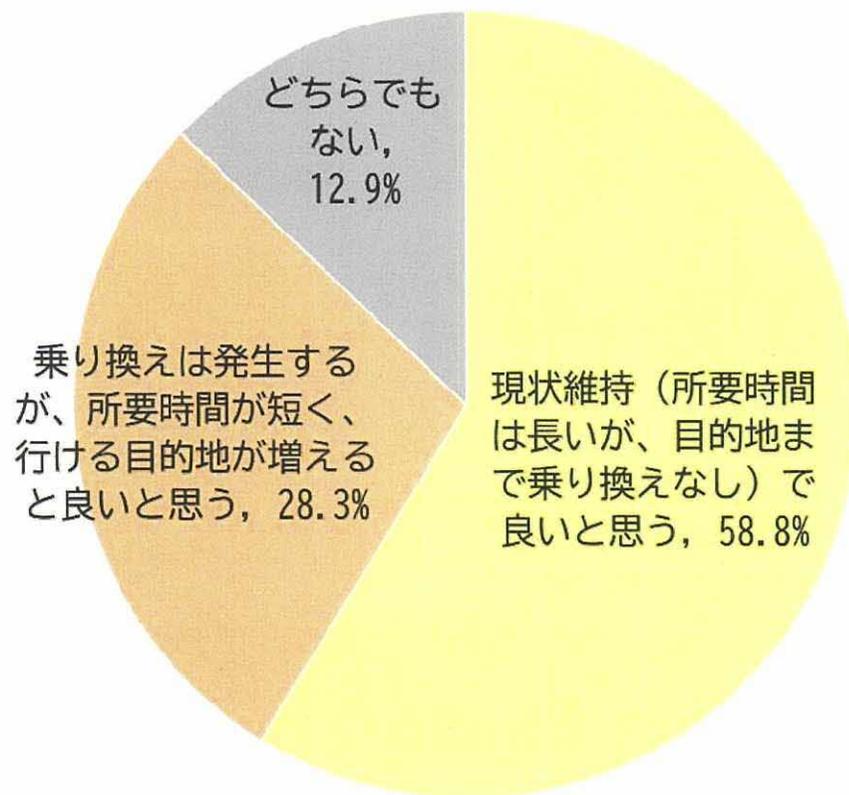
問14 地域交通の維持・確保に向けた考え  
(n=239)

☑妹背牛町では、地域交通の維持・確保において、「利用実態に合わせて、運行規模の適正化を図ること」が特に重要と考えられている



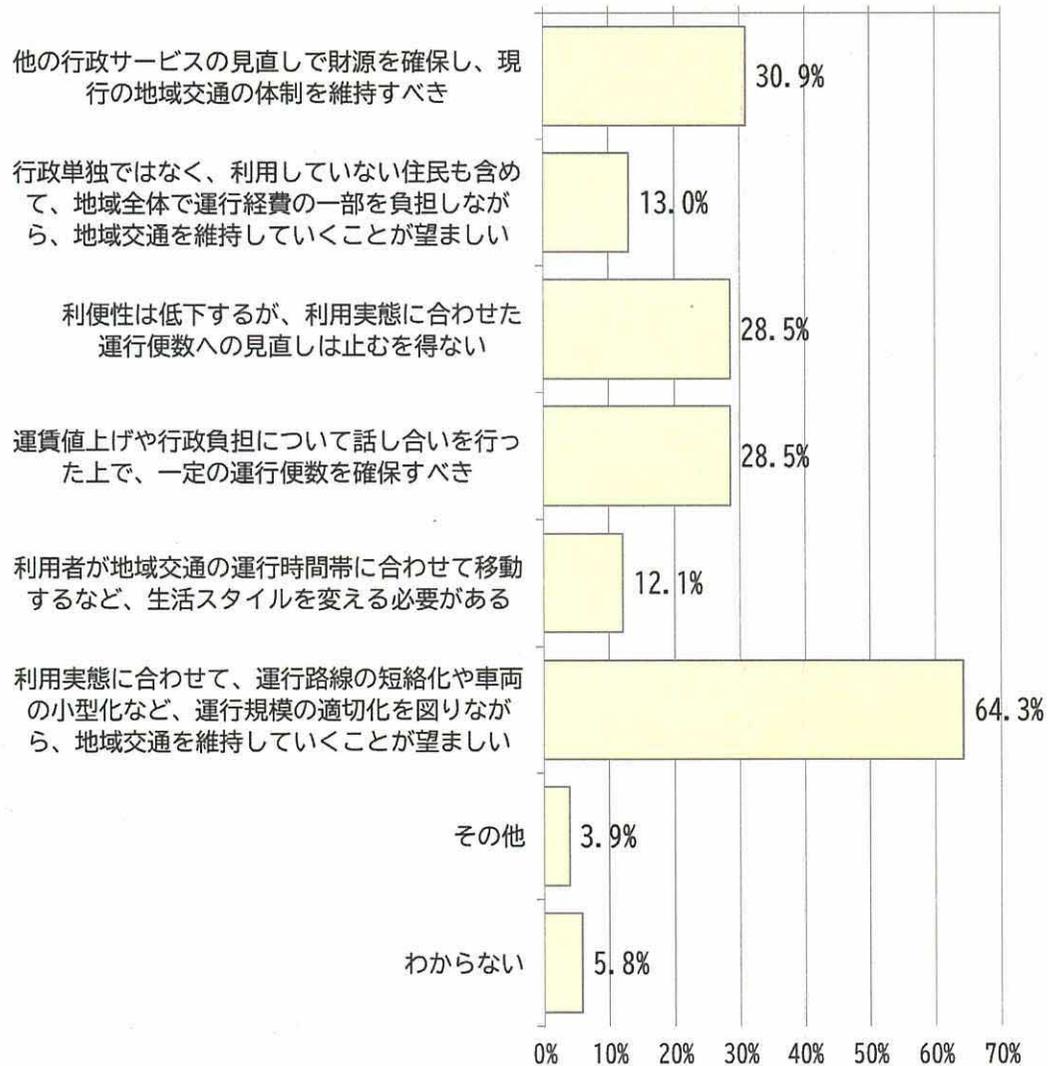
問15 地域を運行するバス路線について  
(n=233)

☑妹背牛町では、地域を運行しているバス路線について「現状維持が良い」と考えられている



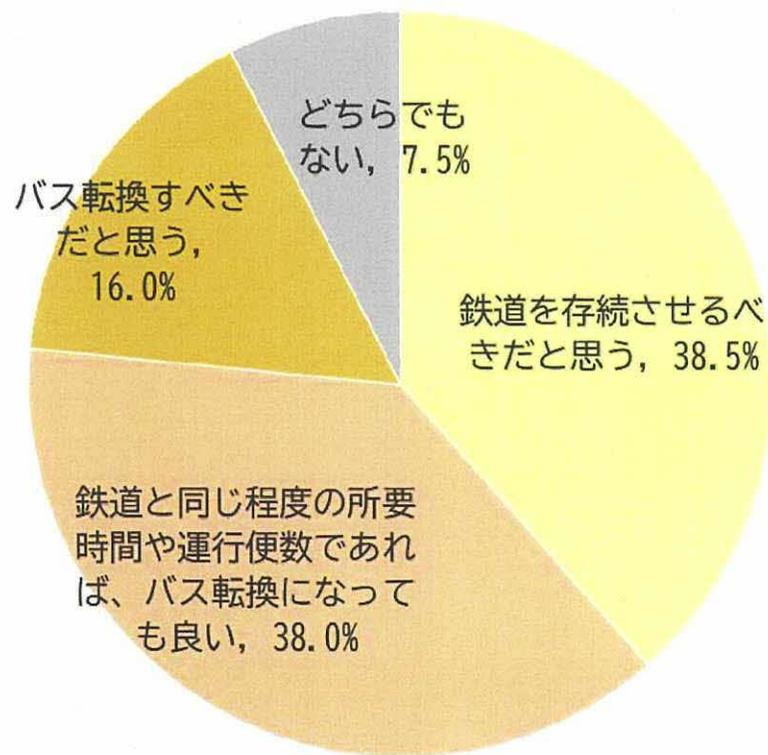
問14 地域交通の維持・確保に向けた考え  
(n=207)

☑沼田町においても、「利用実態に合わせて、運行規模の適正化を図ること」が特に重要と考えられている



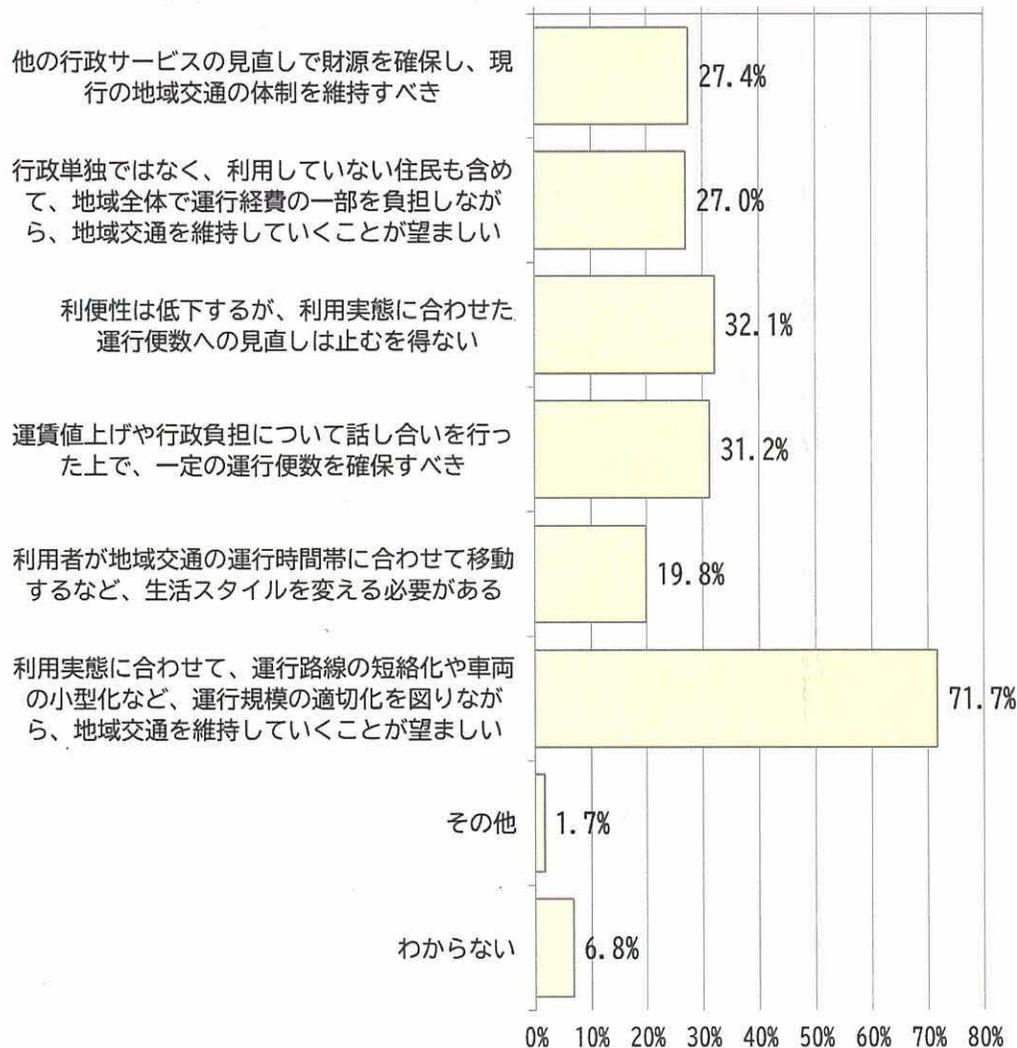
問15 JR留萌本線の存続問題に関する考え  
(n=213)

☑「鉄道を持続させるべき」と「鉄道と同等のサービスを得られるのであればバス転換になっても良い」が同程度となっている



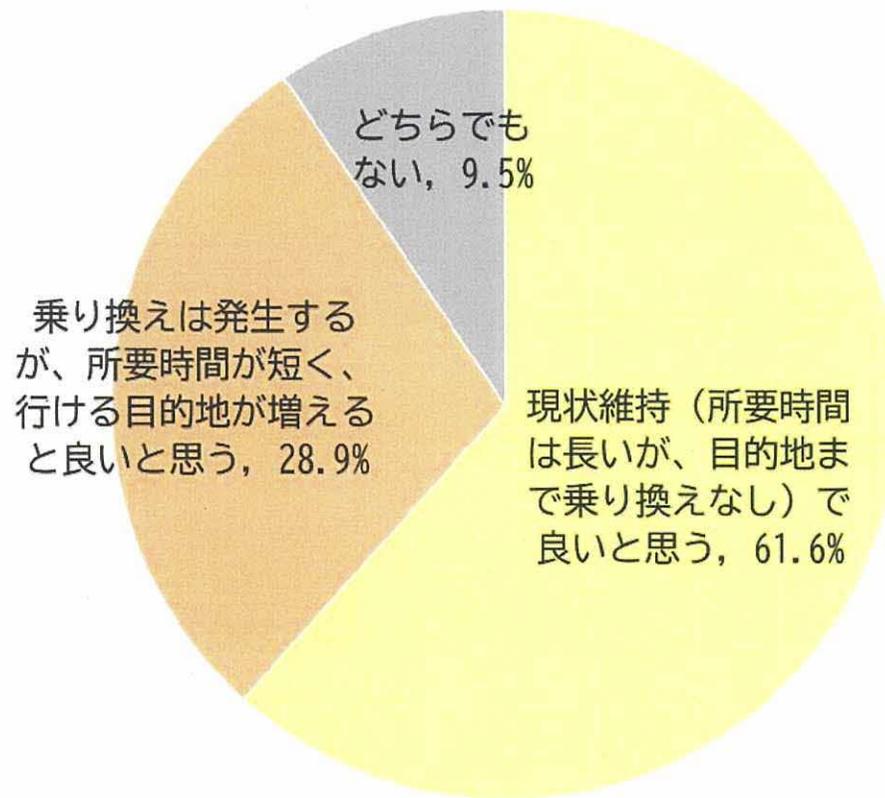
問14 地域交通の維持・確保に向けた考え  
(n=237)

☑北竜町においても、「利用実態に合わせて、運行規模の適正化を図ること」が特に重要と考えられている



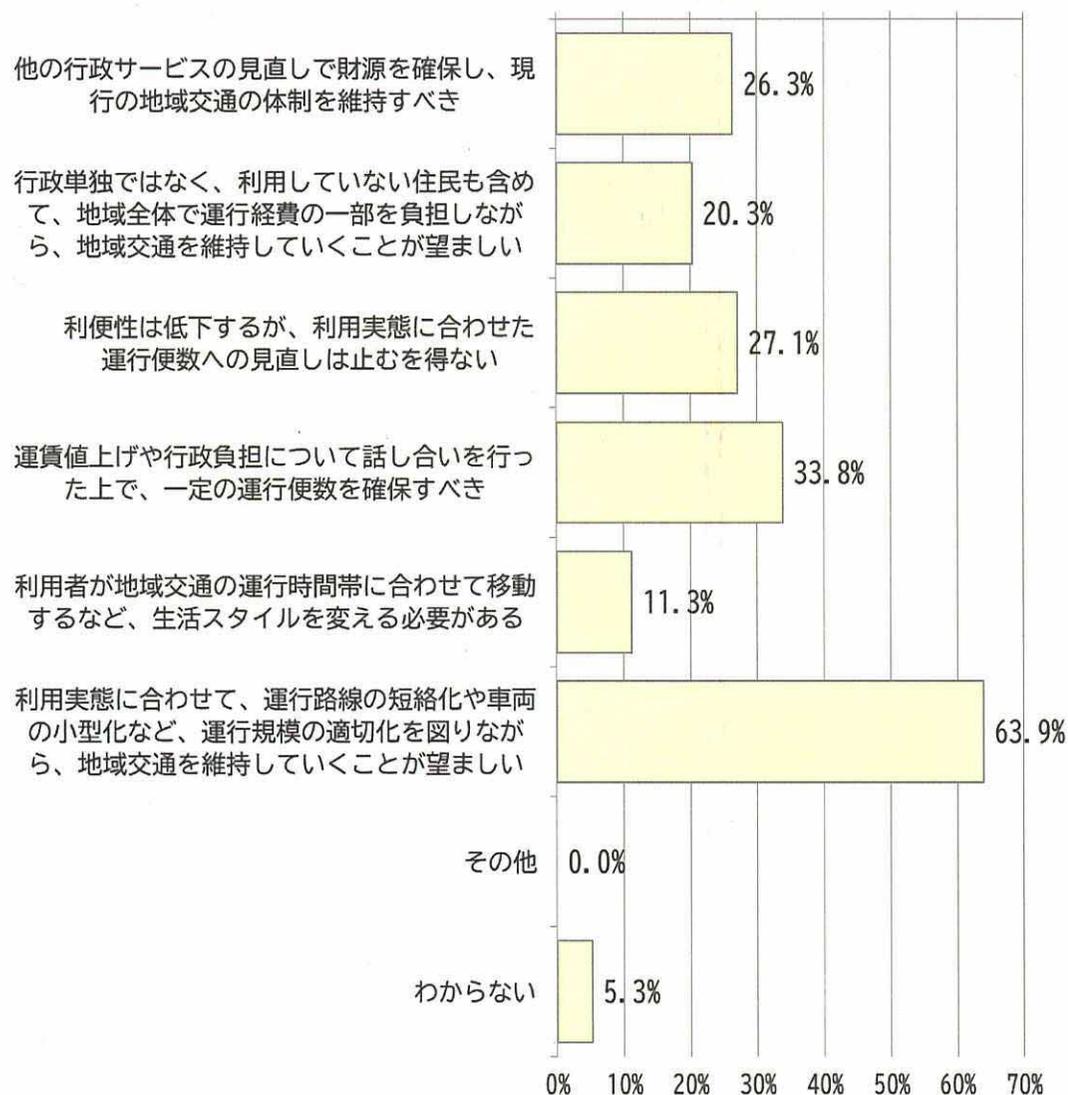
問15 地域を運行するバス路線について  
(n=232)

☑北竜町では、地域を運行しているバス路線について「現状維持が良い」と考えられている



## 問14 地域交通の維持・確保に向けた考え (n=133)

☑秩父別町においても、地域交通の維持・確保において、「利用実態に合わせて、運行規模の適正化を図ること」が特に重要と考えられている



### 自由記述 (n=161)

#### 意見内容

- ・現状を維持してほしい
- ・各町から深川市や旭川市までの移動手段を確保してほしい
- ・高校生など、通学手段としての公共交通の維持が必要
- ・JRやバスなどを活用してイベントを開催するなど、利用促進策の実施することで利用者数が確保される
- ・高齢者にとって、買い物や通院など普段の生活の移動手段として、公共交通の維持は必要
- ・利便性が上がり、運賃が下がるのであれば、バス転換でも良いのではないか
- ・バスよりも運賃が安く、目的地まで早く到着することができるJRを存続させてほしい
- ・現行の高齢者に対する施策（タクシーやバスの利用助成）を維持すべき
- ・札幌市や旭川市、深川市などへ行く際の交通機関との接続を考えて、時刻が設定されると良い